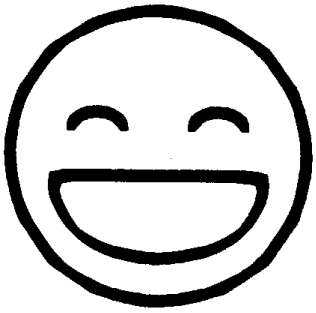
一九九四年八月四日第三種郵便物承認
HSK毎月一〇回(一、三、五、八、一〇、一五、二十、二三、二五、二八日)発行

HSK NPO法人「文福」ニュース❀❀❀❀



「障」ちゃん

❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀ NO.316

冒頭の一言

今年も残り 3 か月となりました。

一年を振り返るにはまだ早いようでいて、そろそろ今年のまとめを意識する時期でもあります。

この一年で「これをやっておいてよかった」と思えることはありますか？

気になっていたお店に行ったこと、読みたかった本を読んだこと、

迷っていた商品を思い切って買ったことなど、

すでに何かを達成した人は、その理由を思い返してみると、来年の自分にとってのヒントになるかもしれません。

まだ思い浮かばない人は、残りの 3 か月で「やってよかった」と思える何かをひとつ探してみるのも素敵です。

残り 3 か月は、まだ十分に長い時間です。

今年の自分に、もうひとつ「よかったこと」を増やしてみませんか。　　ゆき

―もくじ―

冒頭の一言 … 1　　福田文恵さんを偲ぶ会のお知らせ … 2
実家魚津から富山での一人暮らしをして早 10 年 … 3
同行援護研修を受講して … 4　　2026 年 9 月 1 日 障害者部会報告 … 5
季刊誌「まっち 36 号」原稿大募集！ … 6
今後の予定 … 7　ありがとうコーナー … 8

福田文恵さんを偲ぶ会

2026年11月1日(日)
13:00～15:00

場所 文福事務所
〒930-0138
富山市呉羽町7276-3

お問い合わせ先
☎ 076-460-0390

福田さんとの思い出、
皆さんそれぞれにたくさんあると思います。

お茶やお菓子を囲みながら、
福田さんの思い出をゆっくりお話ししませんか。

福田さんを知る皆さんと一緒に、
楽しく、あたたかな時間を過ごせたらと思っています。

どなたでもお気軽にお越しくだされば嬉しく思います。

主催 NPO法人 文福・障害者部会

実家魚津から富山での一人暮らしをして早 10 年

中村かおる

今年の 12 月 1 日で、魚津から富山に来て、早いもので 10 年になります。

魚津から富山に引っ越してきた頃は、母がくも膜下出血で倒れ実家を離れて、本当の意味での一人暮らしが始まりました。今までとは生活が大きく変わるので、「これからどうなるんだろう」とドキドキする気持ちと、不安な気持ちでいっぱいだったことを覚えています。

でも、振り返ってみると、何とか 10 年間やってこられたのは、たくさんの人に助けてもらったからだと思います。一人暮らしの先輩方には、生活のことをいろいろ教えてもらいましたし、家に入ってくださっているヘルパーさん方からも、毎日の生活の中でいろいろな知恵を教えてもらいました。自分一人では分からないことも、周りの皆さんに助けてもらいながら、何とかここまで暮らしてくることができました。

そんな 10 年間の中で、私より先に一人暮らしをしていた障害者の先輩方が、相次いで亡くなられました。先輩方がいなくなっていくのは寂しいことですが、その一方で、いつの間にか私が先輩と呼ばれる立場になってしまったことに、自分でもびっくりしています。

そして、こんな私に障害者部長や季刊誌の編集責任者、副理事長など、いろいろな役目を任せてもらうようになりました。最初は「私にできるのかな？」と思うこともありましたが、頼まれたからには自分なりに一生懸命やってみようと思い、ここまで何とか続けてきました。

私も、そろそろ古希を目の前にする年齢になり、最近は体のあちこちが少しずつ弱ってきているなと実感することもあります。昔のようにはいかないことも増えてきましたし、「年を取ったなぁ」と思うこともあります。

それでも、まだまだやりたいこともありますし、障害者部会の活動も、もう少し続けていけたらと思っています。無理をしすぎないようにしながら、もう少しだけ老体に鞭を打って頑張ってみようかなと思っています。

頼りない私ではありますが、これからも一人で頑張るのではなく、皆さんに助けてもらいながら、皆さんと一緒に障害者部会の活動を続けていけたらと思っています。

これからもご迷惑をかけることもあるかと思いますが、私なりに頑張っていきたいと思いますので、これからもどうぞよろしくお願いします。

同行援護研修を受講して

波野　サザエ

先日、同行援護従業者養成研修の基礎課程・追加課程を受講しました。制度やコンプライアンス、支援者としての役割について学ぶほか、アイマスクを着用した階段の昇降やサンシップとやま周辺の歩行、クロックポジションによる食事の説明、色の伝え方などを体験しました。

実際に見えない状態で歩くことで、普段は意識していない段差や周囲の状況が分からないことへの不安を実感しました。また、食事や色について言葉だけで細かく説明することの難しさから、相手に必要な情報を考え、分かりやすく伝えることの大切さを学びました。

今回の研修を通して、視覚障害のある方には「見えないことへの不安」がある一方で、「出かけたい、楽しみたい」という思いがあることを改めて感じました。同行援護は安全に移動するだけではなく、本人の意思や希望を尊重し、その人らしい外出や生活を支える支援であると学びました。今後の支援に生かし、利用者が安心して外出を楽しめるよう、気持ちに寄り添った支援を行っていきたいと思います。

2026 年 9 月 1 日　障害者部会報告

1,地域のバリアフリーについて

今後、バリアフリートイレを利用した際は、写真と使用した感想を記録し、部会のグループラインに掲載する。

2,ミニコンサートについて

N氏からHシンガー氏にミニコンサートを依頼し、了承を得た。

開催は 11 月中旬～12 月中旬の土曜日を予定し、近日中に日程を確認する。コンサートの目的は、地域に文福を周知してもらうことと、被災地支援を目的とする。主催は『NPO 法人文福・障害者部会』、場所:文福事務所とする。対象は文福事務所がある地域の方々やヘルパーの方々を中心とする。日程決定後、N氏がチラシを作成し、文福事務所がある地域の町内会長、公民館、地区センター等へ配布する。

Hシンガー氏からは謝礼は不要との申し出があったが、謝礼金をお渡しする。

3. 前理事長を偲ぶ会について

NPO 法人文福・障害者部会主催で「前理事長を偲ぶ会」を開催する。

開催日は 10 月 31 日(土)を候補日とし、知人の方々の予定を確認して決定する。ヘルパー方にも出席の呼びかけをする。

時間： 13 時～15 時頃 ・ 場所： 文福事務所

- 内容： 写真やスライドショー、DVD の上映、音楽を流し、茶菓子を囲んで思い出を語る。
- 写真は前理事長の知人等から借りる。 ・司会:N氏

次回部会 2026 年 10 月 6 日(火)14 時～

報告者;中村

季刊誌「まっち 36 号」原稿大募集！

季刊誌「まっち」個人史・社会問題・そして人と人を結ぶことを目指し発行しています。
その「まっち」35 号テーマ『涙』を発行することができました。
これもひとえに皆さんが原稿をお寄せ下さったおかげだと思っています。この場をおかりしてお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

次号のテーマは『怒りと笑い』です。

この相反するテーマを皆さんがどのようにとらえ、どのように書いて下さるのか、編集者一同、今からワクワクしています。
『怒り』と『笑い』を別々の作品として書いて頂いても構いません。
貴方の『怒り』や『笑い』をぜひ【まっち】にお寄せください。
締め切りは10月15日、発行は11月半ばを予定しています。
皆さんからのステキな原稿を、編集者一同心よりお待ちしております。

もちろん、他のテーマや詩や俳句、川柳、短歌、イラスト（絵）等の原稿もお待ちしています。

メールでの投稿 ：macchitti@gmail.com
FAX での投稿 ：（076）460－0390
郵便での投稿 ： 〒930-0138 富山市呉羽町 7276-3
NPO 法人 文福『まっち』編集係
までお送り下さい。よろしくお願い致します。

尚、『まっち』を一読されてみたい方、文福事務所に常時置いてあります。上記に記した連絡先にご連絡ください。

『まっち』編集者一同

◆今後の予定◆

このコーナーでは、基本的に文福や他団体の今後のお知らせを載せていきますので、チェックして、たくさんの方々にお越し頂ければと思います。よろしくお願いします。

◎福田文恵さんを偲ぶ会

日　時：11月1日（日）　13時～15時
会　場：文福事務所
主　催：NPO法人文福　障害者部会
お問い合わせ先：NPO法人文福
電話（076）460－0390（不在の場合あり）
どなたでもお気軽にお越しくだされば嬉しく思います。

◎共生地域福祉フォーラム2026　～どこでも ROCK に生きる～

日　時：11月8日（日）　13時～16時30分
会　場：サンシップとやま　1階福祉ホール　富山市安住町５－21
主　催：共生地域福祉フォーラム2026実行委員会
内　容：『インディペンデント　リビング』 映画上映（上映時間98分）
舞台は障害当事者が運営する自立生活センター
そこは“生きづらさ”を抱えた人が“自分らしさ”を取り戻す
『吠えろ ROCKER』（手話通訳があります。）
登壇者　平井　誠一氏（自立生活支援センター富山　理事長）
三井　孝夫氏（自立生活センター「リアライズ」 代表）
田中　悠輝氏（映画『インディペンデント　リビング』 監督）
佐伯知華子氏（富山ケアネットワーク　会長）
コーディネーター　雷鳥（お笑いコンビ）
マルシェ　11時～14時　ハンドメイド商品販売など
お問い合わせ先：共生地域福祉フォーラム2026実行委員会事務局
このゆびとーまれ　中川さん
e-mail：toyama.care.net@gmail.com
電話：076－493－0765／fax：076－493－8076

ありがとうコーナー

★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★

今後もよろしくお願いします。

★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★★☆★☆★☆

この原稿を書いている9月現在も、8月以降に千葉県・石川県・富山県・福井県と立て続けに集中豪雨に見舞われてあちこちで被害がありました。

そして日本のあちこちで線状降水帯が発生しています。

海外では、ネパールと中国・チベットの国境沿いの地域で大規模な土石流が発生し、行方不明者が多く出ています。

これも地球温暖化が進んでいることになるのでしょうか。　（Penko）

＊2026 年度新規会員・継続会員＊

河尻　幸男さま　京谷　昌厚さま　中野　いくみさま　竹林　ひろ子さま
松田　成美さま　富山　正史さま　山本　夕起子さま　近藤　光子さま
山形　路子さま　匿名さま2名

＊カンパ＊

山本　夕起子さま　近藤　光子さま　中野　いくみさま　匿名さま

発行人：北陸障害者定期刊行物協会　富山市今泉312

編集人:特定非営利活動法人　文福（ぶんぷく）

〒930-0138　富山市呉羽町 7276 番地 3
e-mail: bunpuku@ab.auone-net.jp
HP: https://bunpuku.org/
TEL／FAX(076)460－0390

定　価　50円
※文福の会員の方は、会費に購読料を含んでいます。